



和敬会だより

第138号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和4年2月 日



職員互助会から贈呈された記念品
『虹色バルーン』 作：安田泰三氏

医療法人和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院
ホームページ



職員募集専用



十年後のわたし

理事長・院長 谷野 亮一郎



もしも、十年後、ノストラダムスの大予言がはずれて、明るい十年後がおとずれるのならば、ぼくは、できることなら家を継ぎたい。なんのせ、精神科は、手術しなくてよい。もつのもいやな注射器もあまりつかわなくてよい。医者になるのなら絶対、精神科がよい。

しかし、ぼくは、農家もすてがたい、となやんでいる。ぼくは、こう考える。これからの時代、医者は、どんどんふえるだろう。しかし、農家は、どんどんへつている。競争相手がへつてきているのだ。成功すれば、きつともうかる。しかも、ぼくは、北海道にすみたい。富山もいいが、北海道にすみたい。北海道は、農業もさかんだ。北海道で農業をすれば、一石二鳥だ。ということは、北海道で精神科の医者をしてながら兼業農家というのは、どうだろう。これだと、一石三鳥じゃないか。しかし、これじゃつかれきつて、若死にするのがおちだ。とにかく、将来は、精神科の医者か、農家(成功することが条件)ができれば、幸いだ。ほとんど、十年後というよりは、わたしの将来といった感じだ。まだ、小さな、世間知らずの時は、大きな夢をもっていい。さいごに、全国のあと継ぎがいなくて、こまっっている農家の人々、私が継ぎましょう。

(原文ママ)

突然なんだ、と思われたことでしょう。これは、私が若かりし頃に書いた作文です。なんとも「中二病」な文章です(笑)そして、何よりシヨックなのは、文体というか、そのスタイルが今も変わらないということです(笑)

昨年、谷野呉山病院は80周年、谷野医院は107周年を迎えることができました。娘のクラスメイトが新型コロナウイルス陽性となり、娘が濃厚接触者となったため、私は院内のルールに従い自宅待機しながら、この原稿を書いています。

降ってわいた時間に、これから十年後の私、そしてこれから十年後の谷野呉山病院、谷野医院について考えてみようと思います。

谷野呉山病院80周年・谷野医院107周年 創立記念式典にて、職員互助会より記念品を贈呈しました

谷野呉山病院80周年・谷野医院107周年の、記念すべき節目の年を職員互助会からもお祝いしたいという思いから、今回、記念品を贈呈する運びとなりました。役員会で、未永く見て楽しめ、癒やされる記念品が良いのではないかと話し合い、会員の皆様の意見を募りました。多数の意見の中から、ガラス工芸品が最適な記念品ではないかということで、岩瀬で工房を構えて活躍されている、若手ガラス作家の安田泰三先生に依頼することにいたしました。

安田先生は、ガラスを細長い線維状にして編み込むレース技法や、ガラスの中にもう一つのガラス珠を入れて不思議な造形を生み出すバルーン技法などを独自で体得し、自在に使いこなして作品を製作しておられます。多数ある先生の作品の中から、『虹色バルーン』という、色とりどりのガラス珠が多数入ったオブジェを選びました。この作品は、当院の基本理念の『希望に満ちた人生』に当てはまる、とても輝かしい、明るい未来を示したものだと思います。売店横の展示スペースに展示してありますので、是非たくさんの方々にご覧いただき、皆様方の癒しや活力の源になれば幸いです。

最後になりましたが、この長き歳月で積み重ね、築きあげられた歴史や経験を今後につなげ、和敬会がますますご発展、ご躍進できますよう、職員一同、日々努力を重ねてまいります。

なお、今回の記念品贈呈に対し、理事長はじめ法人本部長や職員互助会役員、関係の皆様から、多数のご助言やご協力をいただき、誠にありがとうございました。

記念品のお披露目



職員互助会 代表幹事 指田 友子

第四十回 院内学会 開催

コロナ禍に咲く希望と和敬会にZoomイン！

令和三年十一月三日に第四十回院内学会「コロナ禍に咲く希望と和敬会にZoomイン！」が開催されました。

令和二年度は新型コロナウイルス感染症対策を優先し、第四十回院内学会の開催は延期となった経緯があります。今年度も新型コロナウイルスとの戦いは続いています。感染対策を徹底しながら安心して参加できる方法を検討し、初めてZoomを導入しました。また、これまで午後から外部関係機関に公開していた特別講演は中止とし、院内の研究発表のみで半日の開催としました。メイン会場の参加を極力制限し、各職員が自宅からZoomで視聴する方法と後日録画配信を視聴する方法で開催し、二百二十七名と多くの職員が参加することができました。

Zoomの導入は初めてであったため、短い準備期間で利用方法やルールの周知、練習機会を設けること、当日の運営方法など実行委員で話し合いを重ねて準備しました。

学会当日は各部署から十一演題の発表があり、事前に全職員から受け付けた質問の中から質疑応答を行い、活発な議論を行うことができました。普段業務している部署の垣根を越えて議論や意見交換ができる機会は他にはなく、今回改めて院内学会の開催が個人のスキルアップや業務に対するモチベーションの維持につながり、大変有意義なものであると実感しました。

また、今回院内学会の実行委員を行うにあたり、これまでの院内学会の歴史を改めて振り返ると、特別講演では和敬会の歴史を反映する講演内容が多く、節目の学会ではシンポジウムなどを行い医療と福祉の連携のあり方を議論し、患者様や利用者様により良いサービスの提供を行う方法を模索しながら歩んできたことがわかりました。

今回新たな方法を導入したことは大きな経験となりました。今後従来の方法と併せて、どの職員も安心して参加できる方法を職員全体で考えていけるように次の実行委員会に引き継いでいきたいと思います。

優秀論文発表者



実行委員長 舟上 恵美

研究発表 発表一覧

★：優秀論文賞 受賞者

氏名	所属	テーマ
田邊 智昭	情報企画課	和敬会職員の電子カルテおよびITリテラシーに関する実態調査
松原 航平	クライシスクエア病棟	新型コロナウイルス感染症でのクライシスクエア病棟における患者・家族対応の困難さ
山本 恵	谷野医院	コロナ禍における初診患者の傾向と分析
永井 克昌	薬剤部	後発品企業の「製品供給、品質管理及び情報提供体制」について
石井 優子	3A病棟	褥瘡をつくらない看護と改善に向けた取り組み
坂田 嶺★	コ・メディカル課	身体症状の訴えに着目した関わりが作業療法参加の動機付けに繋がった身体表現性障害患者の一例
中島あき子	33病棟	閉鎖病棟長期入院患者のおやつのある方についての考察 —患者および職員の思いに焦点をあてたアンケートをとおして—
高橋 未希	メンタルケア病棟	多飲症患者のかかわりと職員の意識変化
河瀬 道克	ストレスケア病棟	ストレスケア病棟過去5年間の退院患者の傾向
渡辺 彬子★	生活支援センター	地域生活支援における相談支援事業所の役割と今後の課題
藤田 宗久	医局	統合失調症患者の入院減少のための持効性注射剤(LAI)の効果

法人の動き

月	日	事項
11	3	第四十回院内学会
11	26	駐車場造設工事完了
11	26	県健康課 実地審査・実地指導
11	27	照明器具LED化工事完了
12	8	職員総会
12	29	谷野呉山病院創立80周年・谷野医院創立107周年記念式典、仕事納め式
1	5	職員に新型コロナワクチン接種
1	21	三回目を開始

受賞された精神保健福祉士の皆様



表彰

和敬会永年勤続者表彰

十年表彰

藤田 宗久 (医局 医師)

坂井 笑美 (ストレスケア病棟 看護補助者)

松 竜也 (クライシスケア病棟 看護師)

十五年表彰

島崎 正夫 (医局 医師)

倉谷真佐子 (33病棟 看護補助者)

清水 砂織 (ストレスケア病棟 看護補助者)

武部 浩美 (クライシスケア病棟 看護補助者)

柳川 重昭 (3A病棟 看護補助者)

宮川 恵美 (コ・メディカル課 精神保健福祉士)

二十年表彰

栗林 孝則 (3A病棟 准看護師)

島田 紀子 (ストレスケア病棟 看護補助者)

嶋尻 智子 (コ・メディカル課 精神保健福祉士)

松田 文恵 (コ・メディカル課 精神保健福祉士)

山本裕美子 (コ・メディカル課 精神保健福祉士)

村上久美子 (栄養課 調理師)

大場美和子 (生活支援センター 精神保健福祉士)

舟上 恵美 (生活訓練センター 精神保健福祉士)

舟本 陽子 (生活支援センター 精神保健福祉士)

松田 和久 (生活訓練センター 精神保健福祉士)

三十年表彰

小田 良光 (総曲輪デイケアセンター 精神保健福祉士)

院内学会優秀論文賞

コ・メディカル課 作業療法士 坂田 嶺

生活支援センター 精神保健福祉士 渡辺 彬子

富山県精神保健福祉大会長表彰 十五年勤続

倉谷真佐子 (33病棟 看護補助者)

宮川 恵美 (コ・メディカル課 精神保健福祉士)

武部 浩美 (クライシスケア病棟 看護補助者)

日本精神科病院協会会員病院職員

永年勤続表彰 三十年勤続

丸本 薫 (コ・メディカル課 作業療法士)

細川恵美子 (33病棟 准看護師)

紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記

表紙の写真にある職員互助会から贈呈されたオブジェがとてもきれいに輝いています。写真よりも実物がきれいですので、売店横に観にきて下さい。

このかがやきが、九十年百年と続くように頑張らなければと、決意を新たに新年を迎えました。どうぞよろしく願いいたします。

(樹)